

施策マネジメントシート(令和元年度目標達成度評価) シート1 作成日 令和 2 年 10 月 1 日

施策体系

政策名(基本方針)	3	教育の健康	施策名	11	生涯スポーツの推進
-----------	---	-------	-----	----	-----------

施策統括部	教育部	関係課
施策主管課	生涯学習課	

1 施策の目的と指標

対象	市民	意図	生涯にわたって目標・目的を持って、スポーツを行っている
----	----	----	-----------------------------

成果指標

	名称	単位
A	目標・目的を持ってスポーツを行っている人の割合[市民アンケート]	%
B		
C		
D		

2 指標等の推移

成果指標	26年度 現状値	数値区分	28年度	29年度	30年度	1年度	評価	背景として考えられること	
A	%	34.4	成り行き値	34.5	34.7	34.9	35.1	×	前年よりアンケートの設問を「月1回以上、スポーツを行っている人の割合」に修正しました。前年より数値の下降は見られるものの、ほぼ横ばいの状態と解されます。「スポーツ」のハードルが高いためか、目標値には届きませんでした。
			目標値	35.0	37.0	39.0	41.0		
			実績値	35.6	32.8	35.1	32.6		
B			成り行き値						
			目標値						
			実績値						
C			成り行き値						
			目標値						
			実績値						
D			成り行き値						
			目標値						
			実績値						

※【評価】 ○:目標達成 △:目標をほぼ達成(-5%) ×:目標を未達成

事務事業数・コスト			28年度	29年度	30年度	1年度
事務事業数			本数	9	9	9
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0
		都道府県支出金	千円	90	86	86
		地方債	千円	0	59,000	0
		その他	千円	20,196	40,140	19,670
		繰入金	千円	0	0	0
		一般財源	千円	42,941	37,203	32,559
	事業費計 (A)		千円	63,227	136,429	52,315
(A)のうち指定経費		千円	1,746	1,711	1,103	
(A)のうち時間外、特殊勤務手当		千円	757	663	0	
人件費	延べ業務時間		時間	5,953	6,945	6,991
	人件費計 (B)		千円	22,246	27,474	27,559
トータルコスト(A)+(B)			千円	85,473	163,903	79,874

## 施策マネジメントシート(令和元年度目標達成度評価) シート2 生涯スポーツの推進

### 3 施策の特性・状況変化・住民意見等

#### 【1】施策の方針

- ・身近な所で、誰でも気軽にスポーツに取り組める環境を整備します。
- ・ラジオ体操の普及により、健康増進や体力向上等、スポーツに取り組みやすい環境づくりを促進します。

#### 【2】協働によるまちづくりの具体策(市民と行政の役割分担)

##### ア)市民(事業所、地域、団体)の役割

- ・市民は、区の行事計画に併せ、スポーツ大会、レクリエーション大会をコーディネートできる体育部長等の地域リーダーを育成する体制づくりを行います。

##### イ)行政の役割(市がやるべきこと)

- ・市は、各地域で企画立案する際のアドバイザー的活動が出来るよう職員及びスポーツ推進委員の活用を行います。

#### 【3】成果指標の目標設定とその根拠(上段)・成果指標の測定企画(下段)

A	目標・目的を持ってスポーツを行っている人の割合の成り行き値は、アンケート結果の推移から微増すると考え令和元年度を35.1%と設定しました。目標値は、市民の健康づくり事業の推進に伴い、平成27年度から各地域において、ラジオ体操の普及に努めており、平成28年度以降には、徐々に健康志向の高まりによりスポーツに取り組む市民の割合の増加が期待できるとして令和元年度は41.0%に設定しました。
B	
C	

**【4】施策の現状と今後の状況変化**

(第1期計画策定当初)

・目標、目的を持ってスポーツに取り組んでいる市民の割合は、全体的には、スポーツ人口は伸びているものの人口増加率に比べ少ないため、数値としては現れていません。

**【5】この施策に対して住民(対象者、納税者、関係者)、議会からどんな意見や要望が寄せられているか？**

(令和元年度(平成30年度振り返り)の施策評価における議会意見)

- ①小学校部活動の社会体育移行に伴う課題を抽出し対策を検討するとともに、施設整備を図ること(危険防止のためのグラウンド夜間照明等)
- ②健康寿命を考慮した家庭内でもできる高齢者向け運動メニューの開発に努めること

(令和元年度(平成30年度振り返り)の施策評価における総合政策審議会意見)

- ①スポーツ施設利用料を見直し、誰もがスポーツしやすい環境づくりに努めること
- ②個人の特性や年代に応じたスポーツの普及促進を図ること
- ③部活動の社会体育移行に伴う活動支援の充実を図ること
- ④誰もが長く続けられ、愛着を持てる体操を普及させること

**4 施策の評価**

**【1】 施策の振り返り(施策の方針、経営方針の達成度等)**

※ 経営方針からの振り返り、貢献度評価の上位の事務事業を記載

(1)令和元年度の経営方針からの振り返りは、以下のとおりです。

- ①「健康づくりを目的とした社会体育を推進する。」については、健康づくりを目的に掲げ、スポーツ推進員とともに各種イベントを開催し、誰もが取り組めるニュースポーツ等の普及に取り組みました。
- ②「高齢者をはじめ、市民誰もが参加しやすいスポーツの普及促進を進める。」については、スポーツ推進員を中心とした各種イベントの企画及び住民ニーズに対応した出前講座等を通してスポーツ普及促進に努めました。
- ③「小学校部活動の社会体育移行後のフォローアップを行うとともに、総合型地域スポーツクラブをはじめとするスポーツ団体との連携を図る。」については、小学校部活動等の社会体育移行に伴い、あらゆる角度からフォローアップできるように、総合型地域スポーツクラブ及び体育協会の各種目団体と連携を図りながら対応しました。
- ④「スポーツ施設の安全安心な維持管理と効率的な環境整備を図る。」については、急を要する修繕も多く発生したが適正な維持管理ができた。計画的な保全、効果的な施設マネジメントを図るため、管財課にて「公共施設個別計画」が策定されました。老朽施設については、施設の劣化診断のもと計画的・効果的な保全計画の策定に努めます。

(2) 事務事業貢献度評価の結果では、令和元年度施策の成果を向上させるために貢献した事務事業として、「スポーツイベント開催事業」「小学校運動部活動の社会体育移行支援事業」があげられました。

**【2】施策の課題(第1期計画策定当初)**

- ・市民ニーズにあったスポーツやレクリエーションに参加できる機会の提供が必要です。
- ・地域の普及促進を行うスポーツ推進員の養成が必要です。
- ・老朽施設の計画的な改修が必要です。(安心安全に使用できる施設の整備)

**5 施策の令和元年度結果に対する審査結果**

**① 政策推進本部での指摘事項(施策目標達成度評価結果報告を受けて 令和2年7月21日)**

- ・小学校部活動の社会体育への移行後の支援を行うこと。
- ・健康づくりのための生涯スポーツ施設の再構築を検討すること。
- ・生涯スポーツ団体の活動を活性化させ、より市民が参加しやすい環境を整備すること。
- ・新たな生涯スポーツ指導者の育成・人材確保を図ること。
- ・新しい生活様式における生涯スポーツを推進すること。

**② 総合政策審議会での指摘事項(令和2年8月6日会議及び書面によるまとめ)**

- ・スポーツしやすい環境づくりに努めること。
- ・誰もが長く続けられ、親しみを持てる軽運動の推進を行うこと。
- ・スポーツに親しむことができる企画を行うこと。

**③ 議会の行政評価における指摘事項(令和2年9月9日)**

- ・小学校の社会体育移行に伴う施設整備(危険防止のためのグラウンド夜間照明等)を行うこと。
- ・生涯スポーツ指導者の育成・確保・支援を行うこと。
- ・新しい生活様式(コロナ対応)における生涯スポーツのあり方について検討すること。
- ・グラウンドタウン構想の早期実現に努めること。

**6 次年度に向けた取り組み方針**

**● 政策推進本部 令和3年度合志市経営方針(令和2年10月1日)**

- ①効果的な情報発信に取り組み、住民ニーズに即した健康づくりのための教室・講座・運動メニュー等、内容の充実に努めます。
- ②スポーツ推進員と連携し、軽運動の推進、幅広い年齢層が親しみやすいスポーツ活動の充実に努めるとともに、生涯スポーツ指導者等の人材育成・確保に努めます。
- ③生涯スポーツ施設の再構築検討に併せ、市民がスポーツに取り組みやすい環境づくりや小学校部活動の社会体育移行に伴う施設面の課題を抽出し、施設整備を検討します。